

福岡県小竹町 小竹町立病院事業特別会計

経営健全化計画実施状況報告(要旨)

1 計画と具体的な措置の状況

(収入における方策)

- ・二次救急病院として、積極的に救急患者を受入れ、入院患者数を確保した。
- ・長期入院を要する患者に対応するため、医療提供体制を見直し、病床稼働率を上昇させた。
- ・入院患者の紹介を増加させるため、近隣医療機関及び高齢者施設を訪問した。
- ・町内の高齢者施設等に出向いて新型コロナウイルスワクチン接種を実施した。

(支出における方策)

- ・給与費の抑制と適正化のため、各種手当の見直しについて検討した。
- ・薬品購入費抑制のため、後発医薬品を積極的に導入した。

2 資金不足額解消の状況

(単位：千円)

区分	年度	計画初年度 の前年度	計画初年度 (令和3年度)	第2年度 (令和4年度)	第3年度 (令和5年度)	第4年度 (令和6年度)
当初計画 A			▲7,626	25,638	▲21,375	87,199
解消実績額 B			38,385	▲40,525	—	—
現在計画 C			—	—	▲21,375	87,199
B-A 又は C-A			46,011	▲66,163	0	0
資金不足額		99,826	61,441	101,966	123,341	36,142

備考 「現在計画 C」とは、現時点での解消見込額のことをいう。

3 資金不足比率の状況

(単位：%)

区分	年度	計画初年度の 前年度	計画初年度 (令和3年度)	第2年度 (令和4年度)	第3年度 (令和5年度)	第4年度 (令和6年度)
		実績値	計画値	実績値	計画値	実績値
資金不足比率		26.5	34.9	14.9	17.3	20.9
					19.9	2.8

4 その他経営の健全化に必要な事項の措置の状況

- ・経営健全化推進会議ほか院内における会議、ミーティングを実施し、職員の経営改善への意識改革等に向けた取組を行った。
- ・職員に対し、院内の定期的な研修会のほか、外部の研修会・講習会への参加を促し、能力及びサービスの向上を図った。
- ・従来慢性期病床として登録していたが、県地域医療構想において、将来的に不足が見込まれる回復期病床へ転換し、町内医療機関、介護福祉施設等関係機関との協力・連携を行った。